

やはり短い夏でした。そして、猛暑の夏でした。旅行も、帰省も自粛してじっと耐えた酷暑でした。

新型コロナウイルスで外に出られずにいた子ども達はどうしているか心配でした。子ども達も、お母さんも、さぞ大変だったことでしょう。

日が落ちてからいつものジョギングに行くときセミがそこに落ちていて代わってヒグラシがけたたましく鳴いて夏の終わりを告げていました。

今後も、感染防止策を徹底して自然の中で、いっぱい遊び充実した生活をします。子ども達が大きく成長する実りの秋にします。



行事予定表		
1	火	アルファ米を食べよ(防災の日)
2	水	リトミック(3歳児以上)
3	木	読み聞かせ(5歳児)
7	月	給食費引き落とし日(3歳児以上)
8	火	ピヨピヨ
10	木	カレーの日
11	金	航空写真・クラス写真
14	月	巡回相談
16	水	おべんとうデー/交通安全教室
24	木	誕生会
25	金	園内での通報訓練

ぞうぐりーぷのちびっこお楽しみ会

・8/21(金)に「よるまでお楽しみ会」を行いました。事前にぞうぐりーぷの旗や、キャンドル作りを行い、当日をとても楽しみにしていた子ども達。当日はお揃いのぞうぐりーぷTシャツを着て胸にはきりんぐりーぷからのプレゼントのバッチを付け、ビーズ製作・スイカ割り・夕飯作り・キャンドルサービス・花火等を楽しみました。花火を見た子ども達が「コロナがなくなりやすいように」と祈っているのを見てその通りだと思いました。

運動会について

・11/7(土)に予定している運動会ですが、コロナウイルス感染を考慮し、今年度は3歳児以上で実施することに致します。また、会場の牛久市運動公園メインアリーナの収容人数も制限があり、保護者の参加人数も制限させて頂く予定です。詳細は後日お知らせ致します。

今月の予定の中から...



●アルファ米を食べよう。(1日)
・今年も、防災の日(9/1)にちなみ、アルファ米のおにぎりとけんちん汁を食べます。離乳食の子は、備蓄品のお粥を食べます。4・5歳児はアルファ米がご飯になる所を見て、おにぎりは給食室で作ったものを食べます。

●航空写真・クラス写真撮影(11日)

・例年は全園児集合写真を撮影していますが、今年はクラス毎に集合写真を撮影します。

●カレーの日(10日)

・4・5歳児は、エプロン・三角巾の用意を子ども達が自分で行うように見守って下さい。今月は少し野菜を切ってみます。3歳児は、前日に野菜洗いを行なう予定です。

●おべんとうデー(16日)

・まだまだ暑い日が続きますね。お弁当の中身にも気をつけ、よく冷ました後に、保冷剤

を入れて持たせてください。

●誕生会(24日)

・今月は先生達によるパネルシアターですが、出し物は密を避け、2クラス毎で楽しみます。

●通報訓練(25日)

・今回は、園内で通報訓練のように職員や子ども達が動き、安全の確認をします。
☆今月より調理員として池田寿子さんが勤務します。



「自粛期間」

自粛期間中に、つくば市で在宅勤務の若いお父さんが、共働きのお母さんに代わって2人の子どもを小学校と保育園に送ることになった。小学生を送った後、在宅の仕事のことを考えていて、下の子を保育園に預けるのを忘れ、そのまま自宅に帰って仕事をしてしまった。夕方、姉を迎えに行く時に、車の中にいる妹に気付いたが、既に死亡していた。当日は猛暑日、お父さんも気の毒である。同じ日の朝刊に、在宅勤務になり、仕事量は増えたとの報告があった。

▼テレワーク、オンライン会議、長時間部屋に閉じこもり仕事をするのは、とても息苦しい。

オフイス経費削減、通勤効率改善などと、良いことばかり挙げられ、新しい生活様式をと言うが、それで人間らしい生活ができるだろうか。申し訳ないが、子ども達とおいしい空気、豊かな自然の中で生活している人間にとって、家中に一日中閉じ込められるのは、真つ平ごめん。人間はオンラインでは育たない。人間関係もオンラインでは築けない。絡み合せて、取っ組み合せて子は育つ、面と向かって話し合い、人間関係ができる。自宅と仕事を分けることで、気持ちのリセットできる。家ではスウェットパンツでリラックスできるし、仕事場では仕事着、スーツで気持ちもシャキツとする。オンライン飲み会、オンライン会議、自宅でできるが、混沌としてメリハリがなくなる。▼「新しい生活様式」などと言わなくとも、「うつらない、うつさない」ため、感染防止策を各自が守ること、3密を避け、マスク、消毒を徹底することだ。人とは2メートル以上離れる、消毒を！と一日中放送されると、非常に神経質になる人がでてくる。コロナ警察が現れる。遊んでいる時も、マスクを徹底しろ！絵本も何もかも消毒しろと言ってくる。そのうち、園庭の土まじり消毒にこんなことが載っていた。スーパージの前で、間隔を空けるための線を、少し超えてしまったら、前のジイさんから「近づくな！」と怒鳴られた。同じようにレジに並んでいたら、前の女の子が片手でタオルを口に当て、もう一方の手でカゴを抱えながら、カバンの中のマスクを探していたので、予備に持っていたビニール入りのマスクを「どうぞ使って」と差し出したら断られた。遠慮しているのだと思いつつ「私は余分にもっているから」と、もう一度勧める。「ビニールにウイルスがついているから分らないでしょう！」と大声で拒絶されたという。人はみんな毒だらけで近寄れなくなってしまう。▼子ども達は、私に濃厚接触してくる。私を見つけると、足にからみつき、体に飛びつき離れない。イスに座るとヒザの上に乗ってくる。もう一人が来ると、片方を空け両足に一人ずつ座る。座れない子は首にしがみつき、肩に乗り、私はアスレチックのように扱われる。逃げる足にしがみつき、ズボンを引っ張り、シヤツの裾を引っ張る。止まると、「シユワッチ」とか「オリヤー」とか叫んで、私をサンドバックのように、パンチやキックをしてくる。▼私は、友達が東京に多いが、行かない。子どもを守るため、人混みを避け、会いたい人にも会わず、行きたいところにも行かず、我慢している。みんなで一緒に、もう少し我慢して、秋晴れを待とう。歴史上、終息しない疫病禍はなかったのだから。

